



THE SERVICE CLUB OF THE YMCA
 AFFILIATED WITH THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y' S MEN' S CLUB

The Y's Men's Club of Kanazawa

CHARTERED JULY 9, 1947

c/o KANAZAWA YMCA 44-1-202 SATOMI-CHO KANAZAWA 920-0998 JAPAN

国際会長主題	「信念のあるミッション (使命・目標)」 “Mission with Faith”
アジア地域会長主題	「愛をもって奉仕をしよう」 “Through Love, Serve”
西日本区理事主題	「あなたならできる! きっとできる!」 “You can do it! Yes, you can!”
中部部長主題	「踏み出そう 次の一歩のための今の一歩を」
金沢クラブ会長主題	「新しい一歩を踏み出せば、二歩目は自然についてくる」

2016 4 月間強調 YMCA サービス ASF

今月の聖句(担当 山内ミハルさん) もし、だれかが「なぜそんなことをするのか」と言ったら、「主がお入り用なのです。」と言いなさい。 マルコによる福音書 11 章 3 節	4 月強調月間 ワイズメンは、YMCA をより深く理解し、ユースに寄り添い、今まで以上に「Yサカ」をアップできるよう、積極的に努力しましょう。 河合久美子 Yサ・ユース事業主任 (京都ウエストクラブ)
4 月例会 プログラム と き 2016 年 4 月 21 日 (Thu.) 18:30~20:30 と ころ 金沢ニューグランドホテル 会 費 ¥3,000 (会員不要) ¥2,000 (メット) 司 会 山 本 達 也 君 開 会 ・ 点 鐘 清 水 淳 会 長 主 題 司 会 者 ワイズソング 一 同 ゲ ス ト 紹 介 澁 谷 君 ・ 山 本 君 理 事 挨 拶 遠 藤 西 日 本 区 理 事 ハッピー・バースデー 清 水 淳 会 長 食 前 の 感 謝 朝 倉 み ゆ き さ ん ス ピ ー チ 浅 野 真 紀 子 氏 “金沢における前衛書” 委 員 会 報 告 各 委 員 ニコニコタイム 西 信 之 君 Y M C A の 歌 一 同 閉 会 ・ 点 鐘 清 水 淳 会 長	3 月 クラブ活動状況 第 1 例会 (3 月 17 日 Thu.) メ ン : 伊 藤、数 澤、幸 正、澁 谷、清 水、西、藤 井、山 内 (8 名) メ ー キ ャ ッ プ : 朝 倉 山 本 (2 名) 出 席 率 : 100 % メ ー ネ ッ ト : 伊 藤、数 澤、澁 谷 (3 名) ゲ ス ト : 荒 川 恭 次 氏 早 川 政 人 氏 (2 名) 第 2 例会 (3 月 1 日 Tue.) メ ン : 伊 藤、数 澤、幸 正、澁 谷、西、山 内 (5 名) メ ー ネ ッ ト : 数 澤 (1 名) ニコニコタイム 14,000 円 クラブファン ド 累 計 99,000 円 B F ポ イ ン ト 切 手 210g 累 計 210 g 現 金 900 円 累 計 15,900 円
会 長 清 水 淳 書 記 山 内 ミ ハ ル 副 会 長 澁 谷 洋 太 郎 会 計 伊 藤 仁 信 直 前 会 長 幸 正 一 誠 メ ー ネ ッ ト 会 長 数 澤 淑 子	第一例会 : 毎月第三木曜日 18:30~20:30 金沢ニューグランドホテル Tel (076)233-1311 第二例会 : 毎月 1 日 18:30~20:00 金沢ニューグランドホテル 2F (トレド)

孫の大学卒業と金沢大学

澁谷洋太郎

3月22日に孫の金沢大学卒業式に出席のため、いしかわ総合スポーツセンター・メインアリーナにいきました。

私には、娘の方に男子3兄弟がありまして、卒業式は2番目の男子であります。1週間ほど前から卒業式に出るかどうか打診してきておりまして、返事をせずにいたのです。誰もがそうだと思いますが、1番目、2番目の子供(孫)には嫌というほど手をかけますが、3番目となりますと写真はもとより、連れ歩くこともめっきり少なくなってしまう。今回はそんなこともあり返事を渋っていたのですが、当日の朝は今年のイースターの朝と同じで輝くような良い朝でした。そんなこともあり「よし!行くぞ」とスタートを切りました。思い出せば入学式にも来ているので間違わずに会場入りしました。

会場はどこもかしこも卒業生を囲む人たちで、祝意と、活気に溢れております。式場内に入りますと卒業生席が中央に、観覧席にご家族席。同伴者席が用意されております。保護者席でない大人の匂いが漂っております。ほぼ満席で一部立ち席の方も見えるようです。卒業生席のどこに目当ての孫がいるのか確認したく、便利になりましたケータイで何処にいるのか立ち上がって手を振ると連絡しますと、すぐに反応があり居場所が確認できました。落ち着いたので周りを見渡すと、国歌、校歌のためのブラスバンドも席にいます。さらによく見ると、手話通訳に銀髪の婦人が見えます。楠本先生夫人です。夫人にお尋ねしたところ金大の入学式、卒業式の手話通訳に永くご奉仕なさっておられるようです。

卒業式も学位記の授与が終われば、一人減り、二人減りで私も失礼を致しました。

さて、2番目男子は社会人となり一安心ですが、問題は3番目男子です。来年大学への進学が控えておりますが、まだ、のんびりとしております。二水高校で弓道部におりまして先日試合の応援で顔をあわせたとき、しっかりやれよと励ましたのですが、どうなりますか期待せずに見守りたいとおもいます。

式場に、金大の現状を知らせる資料がありいくつか頂戴してきました、私たちも学府の金沢と呼ばれる金沢に住まいしておりますので、少し金大を知ること必要かと思い、参考になればと思い資料より少しご紹介いたします。

1. 金沢大学校歌

室生犀星 作詞 信時 潔 作曲
天うつなみけぶらい 天そそる白ねの
北方のみやこにがくふのありて
燦たる燈をかかげたり
人は人をつくるため のろしをあげ
慧智の時間を磨く 光栄ある人間をつくらむと
新風文化の扉は開かれ あたらしの人世代にあふれ
手はつながれ 才能は結ばれ
こぞりてわが学府につどえり
こぞりてわが学府につどえり

2. 金沢大学の沿革

金沢大学の起源は 1862 年の加賀藩彦三種痘所まで遡ることが出来、150 年以上の歴史がある。

3. 入学状況

地元北陸3県を中心に全国各地から入学者が集まる総合大学 入学者 1792 名 入学志望者 5492 名

4. 学生数

付属学校園を含め 12,000 人の学生が在籍 (うち女子学生は 4,500 人)

5. 卒業後の進路

学域、学部卒業者の約 30%が進学
理工学域においては約 66%が進学

6. 図書館

蔵書数が 188 万冊 検索も可能です
電子ジャーナルは 7,000 タイトルと充実

7. 付属病院

1日平均患者数 2,235 人 ベッド数 838 床
看護師数 864 人を含む合計 1,806 人のスタッフ

8. 職員数

金沢大学で働くスタッフ数は 3,782 人
役員 9 名 教授 374 名 准教授 286 名
講師 58 名 助教 258 名 特任教員 119 名
助手 5 名 付属学校の教諭 108 名 事務職員 416 名
技術職員・看護師・診療放射線・技師など 1,076 名 非常勤職員 1,073 名

浅野 春紀氏 (本名:真紀子) プロフィール

前衛書家 (玄土社常任同人)

師: 表 立雲、松村知春

西行の書と仮名の和紙を研究。月刊「書の学習 あすなろ」仮名担当

主な活動: 「前衛書・表立雲と 20 人の仲間たち」パリ展、墨象一心で感じる書」二人展、「玄土社古典臨摸 30 年記念東京展」

【3月例会報告】

3月例会は荒川中部部長、早川中部会計の訪問を受け、例会に花を添えていただきました。

荒川部長から、中部のEMCの状況、交流プログラムのこと、DBCについて、メネット会のあり方等報告があり、富山に再度ワイズメンズクラブの立ち上げを期待するとのこと。早川中部会計からはメンバーが減少しているので、財政は厳しい。何か打開策はないものかとの課題が投げかけられました。

続いて、西ワイズによるスピーチ。にぎやかに例会を終え、場所を東急ホテルに変えて、しばし語らいのひと時を過ごし、再会を約してお開きとなりました。



西ワイズのスピーチの概要をご本人にまとめていただきました。

「八幡大菩薩とマリア観音（日本人の信仰の姿）1

西 信之

日本人は五千年以上前から神を認識し、祭司の習慣を守ってきた。金沢のチカモリ遺跡や能登の真脇遺跡にあるウッド・サークル、北陸にあった縄文土器をベースに新潟や山形などで一時期用いられた火炎型土器、八戸市で発掘された祈る人を表現した合掌土偶（五郎丸土偶）や生命の誕生を畏れ祭った縄文のビーナスと言われる土偶などには、日本人が神を畏れ神に感謝してきた信仰の歴史が刻まれている。縄文時代から海洋交通は盛んであったが、弥生時代になると中国や朝鮮から渡来人が押し寄せ、道教を背景とした神社信仰が始まる。多くの古い神社が、崇神天皇（或いは神武天皇）を起源とするとされていたり、九州の多くの神社が神功皇后（応神天応）を由緒としているのは、神社が社を建てて鏡をご神体とした鬼道に起源を持つと考えられるが、古い神社の多くは、航海の無事を祈る港の近くに作られていた。志賀神社、出雲（杵築）大社、熊野大社、熱田神宮、住吉大社、宮崎八幡宮などがよく知られている。また、奈良の巻向遺跡の東にあ

る三輪山は、それ自体がご神体として信仰の対象となっているが、これは伊都の高祖山に類似し、これらの山の後ろから昇る太陽を信仰したことに始まる。これはやがて天照大御神を祭り、八咫鏡（直径46.5cmの内行花紋鏡）をご神体とする伊勢神宮となる。この八咫鏡が伊都の高祖山の西側にある平原遺跡からも出土し、九州と大和という二つの地の深い結びつきを現在にとどめている。このような天皇家の祖先神を祭る神社は、天武・持統の夫婦天皇によって整備され、この時代の日本書紀・古事記の編纂によって体系化された。

一方、九州には神功皇后伝説に基づく多くの神社や遺跡がある。三韓征伐の帰りに全軍を現在の福岡県飯塚に集め、この地で解散させた。その土地を大分と言い、ここに八幡宮の元となる大分八幡神社が建てられた。これは、やがて軍の帰港地の宮崎に移された。大分の宇佐地域には、新羅系の加羅人である辛島（加羅新羅）氏のような秦一族が住み、ヤハタという読み方が八秦に通じるように、秦氏が氏神として祭っていた神社を、同じく新羅系の応神天皇を祭神として八幡神として祭ったと考えられる。この一族は、近くの香春山に銅山を持ち、奈良の大仏建立にこの銅を瀬戸内海より船で奈良まで運び、大きな功績を果たした。開眼法要から29年後、朝廷は八幡大菩薩の神号を贈り、全国のお寺の鎮守神として財政的な保護を与え、全国に八幡（仏教読みでハチマン）神が広まって行った。神社の中にお寺が作られ、神宮寺が登場し、祖先神を祭る神社が仏教と結び着くことによって、その後、お寺が神社に代わって先祖を祭る役割を果たして来た。しかしながら、古来から続いてきた豊作祈願や豊作感謝、家内安全、商売繁盛といった祈りの風習は、縄文時代から続き、神社が担ってきた神信仰として民衆の間に伝えられ、今も、多くの日本人の精神性を支えている。この神信仰が、日本のキリスト教にどう繋がっていくのかを、次回に触れたい。



~~~~~お知らせ~~~~~

☆理事訪問

今月は西日本区理事遠藤通寛氏とご夫人でメネット事業主任遠藤典子氏が金沢クラブを訪問してくださいます。

~~~~~YMC Aからのお知らせ~~~~~

☆たけのこ掘り体験

日時：4月29日(日・祝) 10:00~15:00
場所：北陸学院大学内竹林
参加費：2,800円
※詳細はチラシを見てください。

Happy Birthday

幸正 一誠君 4月15日
清水 淳君 4月29日

5月の担当

聖句担当：山本 達也君
ブリテン執筆：西 信之君
山本 典子さん
卓話担当：伊藤 仁信君

~~~~~メ ネット 報~~~~~

花嫁のれん号の小さな旅

公園や道路の雪吊りの取り外し作業が始められ、春の訪れを感じる季節になりました。

石川県では29公園、91路線で6万3,900本に雪吊りがされているという。吊る時はずす時も大変な作業であるが、冬から春への風景であり季節の移ろいが感じられる。

さて、文章を書くのが苦手な私は(他にも苦手はいっぱいあるが)私の順番が早く来ませんようにと願うが、とうとうその時が来た。なにも書くことがないなあとボヤいているのを聞いた主人がああ時の事、この時の事を書いたらと言ってくれるのが気が進まない。ブリテンの原稿を集め寝る間もなく、校正から印刷まで奉仕して下さっているY'sメンに早く提出しなければと思いつつ、やっと筆を取りました。

今年に入って「花嫁のれん号」で和倉温泉の旅に友人と行くことになり当日11時23分金沢駅発の「能登かがり火号」に乗り込みました。朝から能登地方は雪で荒れるという予報が出ておりましたが、嬉しさ一杯で思いは和倉温泉でした。

津幡で雲行きが一変して高松へやっとたどり着く有様。

吹雪のため1寸さきも見えない状態で1時になっても列車は動かず、加賀屋での昼食は夢となり腹ペコのお腹を抱えて吹雪を呪いました。なんとか、羽咋まで進んだのですが羽咋で運休となり、旅行社手配のバスでUターン。お客さんには和倉温泉で宿泊の方もおられ大変な「花嫁かがり火号」でした。

金沢に戻ったのは旅行予定と同じ時間、しかも青空。さんざんな一日でした。

それから月日がたち新聞広告に「花嫁のれん号と和倉温泉の旅」募集広告を見て、こりもせず又申し込み。

3月12日二度目の和倉温泉行。今回は行きが「花嫁のれん号」帰りが「花嫁かがり火号」である。

金沢駅ホームに停車している赤を主体としたボディに、加賀友禅の様子が描かれた列車。大勢の乗客がシャッターを切っていた。温泉旅館の客室係に迎えられ乗り込む。

席を確かめ車内を見学列車の連結部分のドアは、どれも友禅模様が違っており金箔や輪島塗が施され、その美しさに感動しました。座席も2人、3人、4人掛けや窓外を向いた座席等がありました。私たちは相席4人でしたがテーブルを挟んで「これもなにかのご縁よろしく」と打ち解け楽しく出発。車内には入口付近に小さなカウンターがありビール、コーヒーは注文すると席まで運んでくれるサービスがありました。私たちの席は通路側に格子で仕切られており、落ち着いて一番素敵な席ねと言われました。

あつという間に和倉温泉駅に到着、加賀屋のバスが待っておりました。目的旅館「虹と海」に到着。海に見える部屋で昼食、食べきれないほどの料理をいただきました。(献立はまた別の機会にいたします)食後大浴場へ入浴、そこでも七尾湾を眺めながら身体の芯まであたたまり3時過ぎ「かがり火8号」で金沢に戻りました。

一日健康で楽しく過ごさせてもらい感謝です。急がず、ころばず、たえず喜び、感謝して一日一日を大切に過ごしたいと思う今日この頃です。

(澁谷 節子 記)